

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	積極的にレクリエーションに参加し、活動的に生活されている利用者とはもせず、レクリエーションも拒否し、自室で休まれている方がいる。	利用者個人個人の思いを尊重しつつ、意欲を持って生活することができる。	利用者の能力に応じたレクリエーションの検討をする。個人のペースを尊重しつつ規則的な生活が送れるように促しをする。利用者各々の好みに応じた多種のレクリエーションの検討。	3か月
2	44	各利用者ごとに排泄チェック表があり、便秘予防を対応しているが、排泄確認が取れない利用者に対する対応が遅れがちである。	便秘が予防でき健康的に生活することができる。	職員間で情報を共有し、排泄確認の徹底を図る。飲食物の工夫により、便秘予防を図る。便秘時の早期対応、観察により便秘の早期発見。	3か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。